

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 北区さつき会 Ikutas kids			
○保護者評価実施期間	2024 年 11 月 1 日 ～ 2025 年 1 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2025 年 1 月 6 日 ～ 2025 年 3 月 15 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 4 月 28 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、公認心理師、保育士、児童指導員といった専門職が、1対1の個別療育を、個別の部屋でしている。作業療法で1組だけ、子ども2人、指導員1人で集団療育を、作業療法の専用の部屋でしている。	一人ひとりに合った題材、教材を用意している。一人ひとりの発達状況に合わせて、子どもに合ったペースで療育を行っている。	子どもが新しい経験ができるような題材、教材を工夫して用意していく。良い刺激を多く与えることにより、成長を促すように支援していく。
2	普段から、療育の中で、気になった事、こまった事等があれば、職員同士で話し合っている。	療育の中で、子どもたちの成長や変化、小学校や中学校、高等学校等での様子等、多くの情報を把握して、職員同士、情報を共有している。	子どもや保護者、直接療育をしている指導員、児発管等と話し合う場を設け、個別支援計画の確認と見直しを行っていく。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスの2事業を運営している。Ikutas kidsの放課後等デイサービスに所属している子どもの約71%が、Ikutas kidsの児童発達支援に所属していた。一人の子どもを、長期間支援することが多く、長期間、一人の子どもの成長をみることができる。	就学前から、言語や作業、音楽、集団活動等、就学時に必要な能力を伸ばしていくことができる。小学校に入学後、療育の担当者が変わる場合、同じ事業所内の職員同士なので、引継ぎ等がスムーズにできる。就学後、言語や作業、音楽、学習等、必要な能力を伸ばしていくことができる。	中学受験、高校受験等を考えている子どもに対し、小中学校や塾等から、受験する学校の情報を得るように勧めることもある。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方に、非常時の対応(事故防止、緊急時、感染症等)を、周知・発信することが不足している。	事故防止・緊急時・感染症等の対応マニュアルは作成している。しかし、契約時のみ、保護者に説明して、周知する機会が不足している。	事故防止・緊急時・感染症等の対応マニュアルを、保護者が閲覧できる場所に置くなど、保護者に周知してもらうようにする。
2	今年度、保護者同士が話し合う保護者会が開かれなかった。	昨年度、作業療法士1名が企画した、保護者会に近い、オンラインサロンを2回行った。音声通話アプリ「mocri」を使って、保護者が話し合う場を設けた。地域の小学校や中学校に就学してからの子どもの様子等がテーマであった。今年度、オンラインサロンは開かれなかった。	来年度以降、保護者会に近い、オンラインサロンを行うことを考えている。